

令和3年度 事業計画書

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

特定非営利活動法人あぐりの杜

1 事業実施の方針

- ・新型コロナ感染症に対する感染予防策の徹底
- ・古民家のリフォームによる蔵カフェのオープン
- ・販路拡充によって工賃の向上

○就労継続支援B型事業「あぐり工房」

●クリエイティブ部門・・・施設内就労 Gallery七菜

開所より6期目を迎え、知名度、認知度とも増してきたことにより、利用者や体験入所者も増えてきたため、古民家のリフォームを行い作業スペースを広くしました。これにより設備を整えると共に利用者の皆様が作業をし易い環境にすることが出来ました。

また、コロナ感染症の予防をしたうえで展示会や即売会を開催すると共に、出来上がった作品を市内外のお店に陳列し委託販売を実施していくなど販路の拡大を行います。さをり織りを使った新しい商品の開発をしていきます。平成30年9月から始めたminnne等の通信販売を活用していきます。通信販売や新商品の開発、委託販売などにより多くの商品の販売が期待でき、利用者工賃の向上につなげていきます。

●クリエイティブ部門・・・パソコン教室

新型コロナ感染症危機に対応するため、国の方針等により在宅ワークが推奨されていますが、利用者が通信システムを使ってパソコン操作を自宅で学習できるシステムを構築しました。

IT時代の到来に伴い、パソコンの操作ができることが必要になってきていますので、WordやExcelが使えるように就労訓練を行います。訓練を終了した利用者が一般就労に結び付くような学習をします。

●農業部門・・・施設外就労 アグリー農園

施設外就労の利用者に、小松菜や水菜、レタス類の水耕栽培を通じて就労訓練を実施します。常時13名の利用者が就労訓練をしています。農福連携をより今まで以上に推進していきます。一人でも多くの利用者が一般就労や独立ができるように体制を強化し、今期は2名の自立を目標に活動します。

●調理部門

厨房を改装し利用者と職員に昼食を提供します。また、蔵の改装により蔵カフェをオープンします。調理は利用者と調理人が一緒に行い、毎日20食から40食を調理して来店者に提供します。料理を学び、接客の手法を身に付けることにより、一般就労に結び付けていきます。

○あぐりの杜プロジェクト

古民家改装に向けて職員と利用者が協力体制をつくり、あぐりの杜プロジェクトの目標である「農・福・観」の連携を確立し、事業を推進しています。「あぐりの杜ふれあい広場」を拡充するために自然探勝路の整備を行い、災害時の一時避難場所を確保します。

2 事業の実施に関する事項(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

●特定非営利活動に係る事業

(千円)

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	収入額	支出額	
就労継続支援B型事業所	あぐり工房 【クリエイティブ部門】	さをり織り Gallery七菜	通年	古民家	15人	20,000	7,500
		パソコントレーニング	通年	古民家	2人	500	400
	あぐり工房 【農業部門】	障がい者の就労訓練の為 薬物野菜の生産請負	通年	農場	14人	37,000	30,000
	あぐり工房 【調理部門】	昼食調理の補助	通年	古民家	2人	3,800	2,900
あぐりの杜 プロジェクト ※農業×福祉×地域資源を目指す自由なプロジェクト	織り人部会 名張移住支援 醸し隊・農業部会	通年	主たる事務所	杜人 50人	500	400	